

令和3年度  
下水道に関する人身事故発生状況について  
(令和4年3月末時点)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 1.人身事故発生状況(総括)

(令和4年3月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
維持 管理 作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
	2. 負傷事故	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	3 (2)	2 (3)	7 (5)	2 (5)	1 (4)	4 (4)	38 (43)
	合計	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	4 (3)	2 (3)	7 (5)	2 (6)	1 (4)	4 (4)	39 (45)
	累計	4 (4)	5 (6)	9 (8)	10 (13)	18 (18)	19 (20)	23 (23)	25 (26)	32 (31)	34 (37)	35 (41)	39 (45)	-
工事	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (1)	6 (7)
	2. 負傷事故	8 (0)	5 (4)	5 (5)	1 (8)	6 (9)	13 (10)	6 (9)	8 (14)	10 (15)	9 (10)	8 (14)	4 (6)	83 (104)
	合計	8 (2)	5 (5)	6 (5)	1 (9)	7 (11)	13 (10)	7 (9)	9 (14)	10 (15)	11 (10)	8 (14)	4 (7)	89 (111)
	累計	8 (2)	13 (7)	19 (12)	20 (21)	27 (32)	40 (42)	47 (51)	56 (65)	66 (80)	77 (90)	85 (104)	89 (111)	-
合計	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	7 (9)
	2. 負傷事故	12 (4)	6 (6)	9 (7)	2 (13)	14 (14)	14 (12)	9 (11)	10 (17)	17 (20)	11 (15)	9 (18)	8 (10)	121 (147)
	合計	12 (6)	6 (7)	10 (7)	2 (14)	15 (16)	14 (12)	11 (12)	11 (17)	17 (20)	13 (16)	9 (18)	8 (11)	128 (156)
	累計	12 (6)	18 (13)	28 (20)	30 (34)	45 (50)	59 (62)	70 (74)	81 (91)	98 (111)	111 (127)	120 (145)	128 (156)	-

※下段()書きは前年度(令和2年度)の値  
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(令和4年3月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計	
事業主体	1. 都道府県	1	0	1	0	3	0	1	1	3	0	0	0	10	12	
	2. 政令市	2	0	1	1	2	1	2	1	2	0	0	1	13	9	
	3. 一般市	0	1	2	0	3	0	1	0	1	2	1	3	14	22	
	4. 町村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	7	2	1	4	39	45
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	
	2. マンホール	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	4	6	
	3. 処理場	2	1	4	0	6	0	3	2	1	1	1	4	25	24	
	4. ポンプ場	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	0	0	6	8	
	5. その他	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	5	
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	7	2	1	4	39	45
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	負傷事故	4	1	4	1	8	1	3	2	7	7	2	1	4	38	43
	1. 墜落・転落	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	9	16	
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	1	1	3	0	1	2	1	1	0	1	12	12	
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	
	4. 切れ・こすれ	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5	1	
	5. 転倒	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	5	3	
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
14. その他	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4	4		
合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	7	2	1	4	39	45	
被災者数(人)	1. 自治体職員	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	3	
	①死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②負傷	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	3	
	2. 委託先業者	3	1	4	1	8	1	3	2	6	2	1	4	36	47	
	①死亡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	
	②負傷	3	1	4	1	8	1	2	2	6	2	1	4	35	44	
	3. 第三者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
	①死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	8	2	1	4	40	52	
累計	4	5	9	10	18	19	23	25	33	35	36	40	-	-		

令和2年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	2. 委託先業者	3	2	1	3	10	2	4	4	4	6	4	4	47
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	合計	4	2	2	5	10	2	4	4	5	6	4	4	52
	累計	4	6	8	13	23	25	29	33	38	44	48	52	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

令和4年3月末時点

NO.	発生日月	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
3月											
1	R4.3.1	2. 政令市	処理場	②負傷事故	④切れ・こすれ	<p>配管内に閉塞した汚泥を除去するために電動工具を用いて清掃を行っていたところ、左手人差指及び薬指が電動工具の回転部分に巻き込まれて左手人差指先端部切断及び左手薬指の第1関節を骨折した。</p>	<p>◆作業員等に対する再発防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回転体作業には背抜きゴム手袋等の滑り止め付き手袋の使用禁止、革手袋の使用を徹底するとともに保護手袋の選定及び電動工具による巻き込まれ災害について、安全教育を行う。</li> <li>・電動ドリルの安全作業標準書を作成し、正しい使用方法を周知徹底する。</li> <li>・電動工具について、用途外の使用禁止を再徹底する。</li> <li>・計画的な作業内容立案するとともに、作業内容変更時は作業を中止する社内ルールを再度教育・徹底する。</li> </ul> <p>◆管理上の再発防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常作業においても、「安全・作業指示書兼 危険予知活動記録表」を用いた4R KYKを実施したうえで作業を行うことを徹底する。</li> <li>・今回の【スラグ冷却水循環ポンプ吐出配管閉塞除去作業】に対する安全作業標準書を作成し、閉塞除去にはホースの水圧で固着を溶解・洗浄することを徹底する。(チューブクリーナー等の専用器具の使用も検討)</li> </ul> <p>◆機器・資材等に対する再発防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ接合が少ない場合はホースの水圧による洗浄を行う。</li> <li>・電動ドリルの安全作業標準書を作成し、正しい使用方法を周知徹底する。</li> </ul>	委託先業者	58	男	左手人差指先端部切断及び左手薬指第1関節骨折
2	R4.3.8	3. 一般市	処理場	②負傷事故	④切れ・こすれ	<p>最終沈殿池の点検に当たり、水抜きに使用する可搬型の陸上ポンプを台車に載せて運搬していたところ、経路上にあるスロープを乗り越える際に台車のバランスが崩れ、台車に添えていた指先が台車とスロープに挟まれた。</p>	<p>(ソフト面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重量物全般の運搬に関する安全教育の実施</li> <li>・新規配属者の安全教育資料の見直し</li> <li>・洗浄用ポンプ運搬作業手順書制定</li> </ul> <p>(ハード面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所を通る運搬機会を無くすよう洗浄用ポンプの増台(追加購入)</li> <li>・運搬作業の安定化のため台車のタイヤを衝撃吸収タイプへ改良</li> </ul>	委託先業者	38	男	左手中指先端切断(約1cm)
3	R4.3.8	3. 一般市	処理場	②負傷事故	②はさまれ・巻き込まれ	<p>維持管理車両(小型貨物車:最大積載量1t)の塗装作業準備中に、作業員が車両の窓を開けようとして、車の鍵を操作(アクセサリ電源を入れようとした)。鍵を回し過ぎたため、車両がロックしながら前進。車両の前で照明器具の設置作業をしていた作業員が、車両と壁の間に挟まれる事故となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事例を元に、車両安全停止時操作の教育指導および車両ならびに車両周辺作業での安全に関する注意点の指導。</li> </ul>	委託先業者	63	男	骨盤亀裂骨折、左足膝の亀裂骨折
4	R4.3.11	3. 一般市	処理場	②負傷事故	①墜落・転落	<p>場内樹木剪定作業において、保護帽を着用し、脚立(1.5m)の3段目に足を掛け、手持ち鋸で作業中にバランスを崩し枝につかまったところ、枝が折れてそのまま仰向けに落下し、背中(左側付近)を強打した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業マニュアルの安全面を再考し追加事項を追加</li> <li>・安全教育の見直しと徹底</li> <li>・作業開始前に安全ミーティングを実施</li> <li>・安全の基本である指差し確認、声掛けを行い安全確認しながら作業確認</li> <li>・危険予知、ヒヤリハットを定期的に行う。</li> </ul>	委託先業者	60	男	肋骨4本骨折(全治1か月)

: 死亡事故
  : 負傷事故
  : 物損事故

### 3. 事故発生状況(工事)

(令和4年3月末時点)

(令和3年度)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
事業主体	1.都道府県	0	1	1	1	2	2	1	0	1	0	0	1	10	6
	2.政令市	6	3	4	4	9	9	3	0	1	3	4	1	47	60
	3.一般市	4	2	2	0	2	7	3	11	8	10	6	2	57	71
	4.町村	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	5	11
	5.その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14	10	5	120	149
工事分類	1.管きょ開削	6	2	8	4	7	12	6	6	7	9	6	1	74	93
	2.管きょ推進	1	2	0	0	0	2	0	2	1	1	1	1	11	19
	3.管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	4.管きょその他	2	1	1	0	1	0	1	2	1	2	0	1	12	10
	5.処ボ土木建築	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	2	1	10	15
	6.処ボ機械電気	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	1	0	7	8
	7.処ボその他	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	5	2
	計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14	10	5	120	149
事故類型	死亡事故	0	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	6	7
	1.墜落・転落	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	2.はさまれ・巻き込まれ	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
	3.飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4.切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	8.交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	11.火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1.公衆災害(人身)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	13.作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	14.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	負傷事故	8	5	5	1	6	13	6	8	10	9	8	4	83	104
	1.墜落・転落	0	0	0	1	0	3	0	0	1	2	0	0	7	18
	2.はさまれ・巻き込まれ	3	4	2	0	1	4	3	0	5	3	3	2	30	29
	3.飛来・落下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	7
	4.切れ・こすれ	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4
	5.転倒	1	1	0	0	1	0	0	2	3	2	1	1	12	4
	6.激突	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	13
7.土砂崩壊	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2	1	0	7	9	
8.交通事故	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	2	
9.感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10.おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11.火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12-1.公衆災害(人身)	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0	1	0	7	14	
13.作業車両の横転	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
14.その他	1	0	0	0	2	1	0	2	1	0	0	0	7	3	
物損事故	2	1	3	4	6	5	1	2	1	3	2	1	31	38	
12-2.公衆災害(物損)	2	1	3	4	6	5	1	2	1	3	2	1	31	38	
計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14	10	5	120	149	
被災者数(人)	死亡	0	0	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	6	7
	負傷	8	5	5	1	6	13	6	8	10	9	8	4	83	109
	合計	8	5	6	1	7	13	7	9	10	11	8	4	89	116
	累計	8	13	19	20	27	40	47	56	66	77	85	89	-	-

#### ○令和2年度に国土交通省へ報告のあった被災者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	死亡	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	7
	負傷	0	7	5	7	9	11	9	14	18	10	14	5	109
	合計	2	8	5	8	11	11	9	14	18	10	14	6	116
	累計	2	10	15	23	34	45	54	68	86	96	110	116	-

事故情報データベース(工事)

令和4年3月末時点

NO.	発生年月日				事故概要	発生場所	事故類型	被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業				年齢	性別	被害状況
3月										
1	R4.3.2	1.都道府県	7.処ボその他	その他	機器搬入時の車上確認で、監理技術者兼現場代理人が、トラックの荷台から降りようとした際、用意していた踏み台から足を踏み外し転倒し負傷した。昇降用の踏み台(0.57m)を用意していたが、荷台から降りる時、被災者は塗装膜厚計と書類を持ち両手が塞がった状態であったこと、トラックの荷台(約1.0m)と踏み台の落差が0.43mと大きかったため目測を誤ったことから被災した。	現場内	5.転倒	30	男	左リスフラン関節脱臼骨折
2	R4.3.5	3.一般市	4.管きよその他	その他	バックホウ(0.45m3)にて撤去した既設の舗装殻をダンプトラック(4t)に積込していた際に、補助作業に従事していた作業員がバケツからこぼれた舗装殻を拾い上げようとして、バックホウとダンプトラックの間に移動したところ、バックホウ運転手が作業員に気づかずに発進してしまい、作業員の足がキャタピラの下敷きとなり、被災した。事故発生当時、作業員は保護具(安全靴)を身に着けていなかった。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	66	男	左足(膝下)複雑骨折、右足剥離骨折
3	R4.3.8	3.一般市	5.処ボ土木建築	型枠組立	足場上で型枠を単管パイプで固定していく作業を三人で行っていた。(被災者は単管パイプを足場上にいるもう一人の作業員に渡す作業を行っていた。足場上の二人の作業員は受け取った単管パイプを型枠に取り付け、固定する作業を行っていた。)被災者は単管パイプを持ち、足場上の作業員に渡すため待機をしていた。その際に、型枠に仮止めしていた単管パイプが落下し被災した。	現場内	3.飛来・落下	60	男	背骨骨折
4	R4.3.10	4.町村	2.管きよ推進	片付け作業	バックホウ(スライド式アーム)のバケツに立坑内の残材を入れていた。被災者はその作業場所で、右手は残材、左手はバックホウのバケツ付近のアームに手を置いて作業をしていた。その際、バックホウオペレーターがスライド式アームを完全に収納できていないことに気付いたため、アーム付近に被災者の手が置いてあることを見落としたまま、アームをスライドしたところ、左中指が挟まり、被災した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	35	男	左中指切断
5	R4.3.28	2.政令市	1.管きよ開削	掘削作業	下水道管の布設替えに伴う管布設時、他企業埋設管の上に既設路盤塊が落下し、ガス供給管(φ30mm、供給者なしの残置管)を破損した。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	ガス供給管(φ30mm)

   :死亡事故
    :負傷事故
    :物損事故

令和3年度  
下水道に関する水質事故等発生状況について  
(令和4年3月末時点)

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 水質事故等発生状況 (令和4年3月末時点)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)	2 (5)	38 (50)
	累計	2 (9)	5 (12)	6 (18)	8 (21)	13 (26)	19 (28)	26 (30)	28 (35)	32 (38)	34 (43)	36 (45)	38 (50)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	2 (2)	1 (0)	2 (1)	1 (3)	0 (2)	0 (1)	8 (15)
	2. 政令市	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (3)	0 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	11 (8)
	3. 一般市	2 (6)	1 (2)	1 (4)	1 (1)	2 (4)	3 (0)	2 (0)	1 (2)	2 (0)	0 (1)	1 (0)	2 (4)	18 (24)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)	2 (5)	38 (50)
発生施設	1. 管渠	2 (5)	1 (1)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (1)	2 (1)	1 (2)	1 (0)	0 (2)	15 (15)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	7 (10)
	3. 処理場	0 (3)	0 (2)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (2)	8 (14)
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	4 (5)
	5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (6)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)	2 (5)	38 (50)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (3)	1 (3)	0 (5)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	0 (4)	3 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	10 (25)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	10 (7)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (4)	1 (0)	0 (1)	2 (1)	2 (2)	4 (1)	3 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (5)	2 (0)	0 (3)	18 (18)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)	2 (5)	38 (50)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	2 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (2)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	5 (7)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	6 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (5)	0 (1)	1 (2)	1 (2)	3 (1)	1 (1)	3 (1)	0 (2)	3 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (2)	16 (22)
	⑥ その他事故(①~⑤以外の事故)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (1)
	水質事故 合計	2 (9)	1 (2)	1 (4)	2 (2)	5 (4)	4 (2)	6 (2)	1 (3)	4 (2)	2 (4)	2 (1)	2 (5)	32 (40)
	その他案件	0 (0)	2 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (10)
水質事故等 合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)	2 (2)	2 (5)	38 (50)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (1)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)	1 (2)	1 (3)	2 (0)	1 (1)	15 (13)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (0)	2 (2)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	4 (1)	4 (2)	0 (3)	2 (2)	1 (3)	2 (0)	1 (1)	18 (18)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※( )書きは、前年度(令和2年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和4年3月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 / 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
<b>3月</b>									
1	R4.3.5	3.一般市	その他	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出	13/50	耐用年数以内	民間企業の施設において、ボイラー室におけるA重油タンクの故障により、雨水管を通じて河川へA重油が流出した。	応急対応として、雨水管を通じて重油が流出しないように雨水管から河川への流入部へオイルフェンスを設置し、雨水管にオイルマットを設置するとともに、河川における重油の下流への拡散を防止するためオイルマットによる吸着除去を実施した。 また、今後の再発防止対策として原因事業者に対してボイラー等施設及び重油等の取り扱いについて適切な管理を実施するよう改善指導を実施した。
2	R4.3.6	3.一般市	その他	水質事故	②悪質下水の流入(放流水質が基準値に適合)	-	-	民間企業の施設においてボイラー設備で使用している重油が作業員のミスにより排出管を通じて、汚水管に流入した。 ボイラーの不具合対応のため、通常とは異なる操作(自動⇄手動切り替え)を行った後、通常状態に復旧するのを忘れたことにより、重油が流出した。	応急対応として、排水溝及び人孔にオイルマットを設置するとともに、処理場内における沈砂池への流入経路へオイルフェンスを設置し吸着除去を実施した。 また、今後の再発防止対策として原因事業者に対し、ボイラー設備等の運転操作及び危険物取扱いに係る改善指導を行うとともに、他の事業者に対しても注意喚起を行うこととする。